



感染症週報

令和8年7月21日発行



小笠原での流行状況

第29週（7月13日から7月19日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

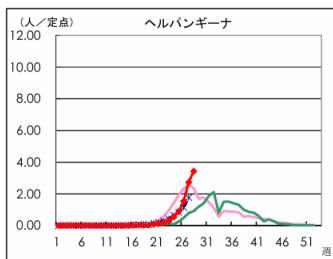
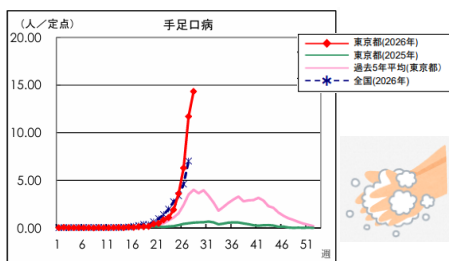
※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

第28週（7月6日～7月12日）

【今週の注目される 定点把握対象疾患】

- 手足口病の定点当たり報告数は14.33と増加しています。島しょを除く30保健所が警報基準を超えています。
- ヘルパンギーナの定点当たり報告数も引き続き増加傾向です。



タオルは1人1枚!

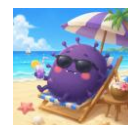
夏の「感染性胃腸炎」



「感染性胃腸炎＝ノロウイルス」のイメージがある方も多いと思いますが、細菌やウイルスに感染して発症する胃腸炎全般を感染性胃腸炎と呼んでいます。夏は細菌や夏風邪の原因ウイルスによるものが多くなります。

【夏に多い感染性胃腸炎】

- O157（腸管出血性大腸菌）…重症化すると大変
- サルモネラ属菌…小笠原では油断禁物
- 腸炎ビブリオ…塩気が好きで海水中にいます
- カンピロバクター…生焼け鶏肉に注意
- 黄色ブドウ球菌…あなたの手にもいるかも?!
- エンテロウイルス…手足口病もおこします
- アデノウイルス…プール熱・流行り目も同じウイルスです



【予防と対策】

1：調理と食品の衛生管理

食材は中心部までしっかり加熱。
まな板や包丁は食材（肉類・野菜等）で使い分け。
こまめな消毒。
食材を常温放置しない。

2：手洗いと日常の対策

手洗いの徹底
タオルの共有を避ける
水分補給用の水と氷の衛生状態に注意



感染症メモ

夏のノロウイルス



夏季期間は件数は少ないですが、1年中発生しています。夏場は体力が落ちて免疫力が低下しやすいため注意が必要です。冬は「二枚貝」によるものが多いですが、夏は「感染者の手から食品を介した二次汚染」と「ヒトからヒトへの接触感染」が多くなります。夏でも冬でも**手洗いの徹底**が最も有効な対策になります。



習慣にしよう!

感染予防の基本は手洗い



東京都島しょ保健所小笠原出張所